

「当院職員の新型コロナウイルス 感染に関するお知らせと対応」

当院職員が発熱等の症状を訴え、PCR検査を受けたところ、新型コロナウイルス陽性の判定となりましたのでお知らせします。

職員は新型コロナウイルス感染患者さんを受け入れている病棟に勤務している看護師で、5月17日（日）から発熱し、検査の結果、5月21日（木）に陽性と判明したものです。なお職員は、発症した後は勤務をしておりません。

保健所の見解によれば、職員が担当した患者さんや接触のあった他の職員等に濃厚接触者はおりません。しかし病院の判断により、接触のあった職員を自宅待機とするとともに、担当したすべての患者さんにはすでに個別にご連絡し、健康観察を行うようお願いしたところです。また、職員が休憩をとった部屋や動線については再度、消毒を実施しています。

接触のあった職員や患者さんに症状を訴える方が出ていないこと、手指衛生や防護具の着用など院内感染対策を適切に行っていることから、保健所の指導・助言により、当院は入院・外来とも診療を継続いたします。

患者さんやご家族の皆様、近隣医療機関の皆様にはご心配やご不便をおかけしておりますが、今後とも安全な医療の提供に努めてまいりますので、ご理解の程お願い申し上げます。

令和2年5月22日

院長 黒井克昌